

卒業

本日、3月9日は瑞浪市内中学校の卒業式です。中学校の卒業式の開催月日は、東濃5市で統一されているわけではなく、昨日3月8日が多治見市・土岐市・中津川市、3月11日が恵那市となっています。ちなみに小学校の卒業式は、東濃5市共通の3月24日です。(県内には3月11日、3月23日に実施する小学校もあります。)

3月3日に岐阜県立高等学校の第一次選抜を終え、3月18日にはコロナの影響で受けられなかった生徒を対象とした追検査を控え、3月21日に合格発表という流れが組まれています。勿論、その後には二次選抜も予定されています。私立単願や専門学校進学等、県立学校を受検しなかった生徒たちは進路先がほぼ内定しているでしょうが、大半の生徒たちが結果待ちの状況です。心中察すると、複雑な想いがあるでしょうが、中学校卒業という節目はとても大きいものであると言えます。これまで当たり前にご過ごしてきた仲間と別れ、新たな進路先での歩みが始まります。それだけに卒業式の存在は大きく、本日、感動的な卒業式が挙行されたことが想像できます。

さて、瑞浪市内小学校の卒業式まであと14日(登校日はあと9日)となりました。慌ただしが付きまとうが故に、「1月が行って、2月が逃げて、3月が去って」あつという間に卒業式、あつという間に瑞浪北中学校入学式、という想いを実感すると思います。日吉小学校12名だけで過ごすことは、残り日数と同一かもしれませんね。土岐小、明世小、釜戸小の6年生と一緒に瑞浪北中学校に入学し、新1年生は日吉小学校の全校児童数よりも多い101名(R4.1月末現在)となります。この状況は当初、大きな戸惑いを感じることもあるかもしれません。しかし、4小学校で1つの学年・学級をつくり、共に生活していくという経験はとても貴重で、その後の自身の成長にも大きく影響すると言えます。

さあ、6年生12名の皆さん、残された9日間の小学校生活をどう過ごし、4月7日の中学校入学式までにどんな準備をしますか。特に6年生が感じる3月の過ぎるスピードは今までの中で一番早く感じると思います。自分なりのプランを立て、一つ一つをきっちりとやっていくことです。

その節目となるのが卒業式です。

厳粛な雰囲気の中、12名の堂々とした姿、意欲に満ちあふれた表情で臨む式となることを大いに期待しています。

コロナ禍によって、多くの来賓の方をお招きし、共に12名の卒業を祝福することはできませんが、一人ひとりの成長した姿を目にすることによって、感動的な卒業式になることは明らかです。